



# 感動ある「卒業証書授与式」につなぐ

～ “ ころころが動く ” ということ ～

校長 竹中 学



3 学期も残すところ、あと 20 日を切りました。

今は、自信をつけること、いろいろな力を定着させること、そして希望をもって進学・進級できるようにと教育活動を進めています。

さて、先日、大縄大会を開催しました。保護者の皆さんには寒い体育館での参観をしていただき、ありがとうございました。寄せていただいた感想から

♪ ハイペースな縄回しにも挑んでいく子どもたちのたくましさ

♪ 「ハイッ」「ハイッ」とリズムをとる声をかけ続ける粘り強さ

♪ 臨機応変にそして的確に短い言葉で助言する高学年児童のスマートさ(賢さ) など

を感じ取っていただけたと確信しました。

取り組みの段階では、

♪ 休み時間ごと全校が集まって練習するまとまりのよさ

♪ 練習後の反省会を取り仕切ったり、意見を出したりする高学年児童のリーダーシップ

♪ 取り組みに関わる「“よさみつけ”カード」を書く相手を認め、尊重する心情の高まり

を感じました。

大会直後には象徴的な場面を 2 つ見ました。

1 つは、1 回目の記録で最高記録を出したものの 2 回目にはそれ以上の記録が出なかったチームで、悔し涙を流す児童がいました。

もう 1 つは、2 回目の記録で最高記録が出たチームで、多くの児童が両手を挙げて喜びの声を上げていま

した。

そこで、大会を終え、「取り組みによって“ころころが動く”とか“感動する”こと」について考えました。懸命に取り組んできたからこそその悔し涙であり、両手を挙げての歓喜の声だったと思うのです。

取り組みの中では、うまくいくこともあれば思うようにならないこともあります。それでも、練習中から「ハイッ」「ハイッ」と大きな声をかけ続ける。練習後に「○○さんは真ん中で跳んでいないからちゃんと真ん中に行って跳んで。」と厳しい指摘をする。自分が引っかけってしまったときには「ゴメン!」とスパッと謝って素早く待機列に戻る。こうした熱い思いがもてになった行動をすれば“ころころが動く”のです。

こうした“ころころが動く”経験は(夢に向かって)人を動かすエネルギーになると考えます。

2 月下旬からは、「6 年生を送る会」と「卒業証書授与式」に向けての取り組みを始めました。

6 年生の子たちにどんな思いを伝えたいか考えて、数曲の中から職員と在校生で曲選びをしました。6 年生は、在校生にどんな言葉を贈りたいか、経験を想起しながら呼びかけを創りました。スタートは気持ちを入れるため、“ころころが動く”ためのものになりました。これからは、練習していく中で、言葉に力をこめ、リズムに身体を乗せていくことになります。大勢の人前で大きな声を発するだけでも緊張しますが、“ころころが動く”取り組みをして感動ある「6 年生を送る会」「卒業証書授与式」につなげるよう指導していきます。

## 新しい年度 新しい方向性

昭和 27 年に組織された全国へき地教育研究連盟。「各都道府県へき地教育研究団体の活動を促進し、関係諸機関団体との連絡を密にして、へき地学校、小規模学校、複式学級を有する学校、分校等の教育の充実をはかり、もってへき地における教育の振興をはかること」を目的としています。平成 31 年度から「ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成」を研究主題とした第 9 次長期 5 か年研究推進計画を進めます。

岐阜県では「第 3 次 岐阜県教育ビジョン」が発表されています。2019 年度から 2023 年度の 5 年間の計画期間としています。重点施策として ふるさと教育の充実 ICT 環境の整備と活用 が挙げられています。

4 月からの新しい年度には、こうした新しい方向性をもとに、国や県の教育が動き出します。本校でもこれらの動きを受けて研究実践を進めていきます。“ふるさと”は、ひとつの力だと考えています。保護者、地域の皆さまに、ご協力をお願いすることがあると思います。その節にはよろしくお願いいたします。



< 2月の活動から >  
 ○ 命の授業 2/5(火)



前田動物病院（中津川市）の前田敬生先生をお迎えして、命の授業（動物愛護教室）を行いました。

授業では動物や人の心臓の鼓動音を聞いたり、人間は他の生き物の命をいただいて生きているということを教えていただいたりしました。また、数え切れないほどの命（祖先）が繋がって自分の命が存在していることや、お互いに「心が温くなる言葉」を伝え合えるようにしようということも、併せて教えていただきました。

当日子どもたちが家に帰ってから、授業の内容を家族に伝えたところ、へその緒を見せたり、生まれたときの様子を話したりしてくださったとのこと。親子でも命の大切さを学ぶ機会になりました。

これからも学校では、自分や相手を大切にできる心を育ててゆきます。

○ 3・4年生社会科校外学習 2/6(水)



3・4年生が、社会科の「特色ある地域の人々の暮らし」の校外学習で、恵那市山岡町の榎五寒天商会様を訪問しました。

どんな工夫をして作業をしてみえるのかを質問したり、作業を体験させていただいたりして、細寒天づくりの様子や、もの作りを行う人の思いについて学びました。

このように、学年の学習内容や発達段階に応じて、体験的な学習を進めていきます。

○ 大縄跳び大会 2/16(金)



全校を2つのグループ分けた、10人くらいのチームで大縄跳び（8の字跳び）を行いました。高学年のリーダーが作戦を考えて朝の活動や休み時間に練習に取り組み、頑張りを認め合ったり、はげまし合ったりしながら、回数を増やしてきました。

毎年恒例の行事ですが、今年は授業参観日に大会を行うことになり、保護者の目の前で回数を競いました。結果は両チームとも300回以上を跳ぶことができました。県内でもトップクラスの回数です。

どの子どもも満足して取り組みを終えることができました。

**表彰**

< 恵那市こども版画コンクール >

恵那市商店街連合会会長賞

植木 さん（1年）

入選

瀬瀬 さん（3年）

瀬瀬 さん（4年）

田中 さん（4年）

瀬瀬 さん（5年）

**3・4月の予定**

< 3月 >

1日(金) 6年生を送る会

学校運営協議会

21日(木) 春分の日

25日(月) 卒業証書授与式

26日(火) 修了式

27日(水)～4月7日(日) 春休み

< 4月(主な予定のみ) >

8日(月) 始業式

9日(火) 入学式(在校生は弁当持参)

20日(土) 授業参観・PTA総会・学級懇談会